

キャリア支援キックオフシンポジウム ～ニーズを探る～

ダイバーシティ関連アンケート結果の報告

日本組織適合性学会キャリア支援ワーキンググループ

王寺 典子（奈良県立医科大学）
黒木 喜美子（北海道大学）
奥平 裕子（(株)ジェノダイブファーマ）
宮川 卓（東京都医学総合研究所）

石塚 敏（東京女子医科大学病院）
坂本 慎太郎（名古屋第二赤十字病院）
藤井 明美（県立広島病院）
成瀬 妙子（東京医科歯科大学、長崎大学）

ダイバーシティ、ワークライフバランスとは

ダイバーシティとは

- 「多様性」を意味する言葉
- 「多様な人材を生かし最大限の能力を発揮させよう」という考え方

⇒ **働き方の多様性**

ワークライフバランスとは

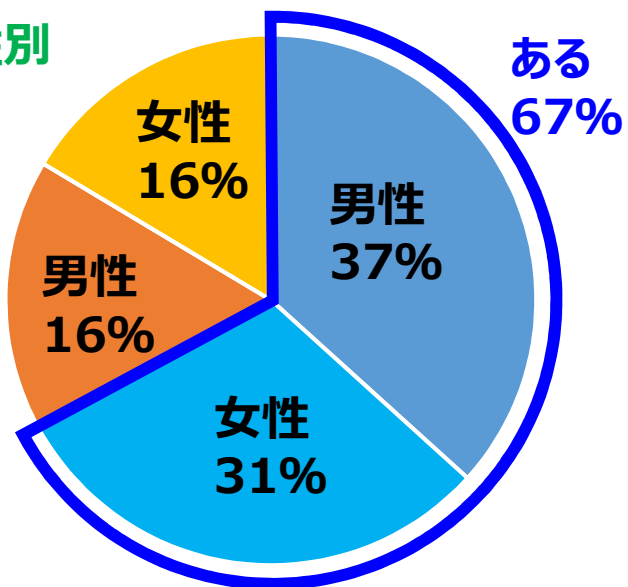
- 「生活と仕事の調和」

生活（プライベート）の充実  仕事の効率・パフォーマンスの向上

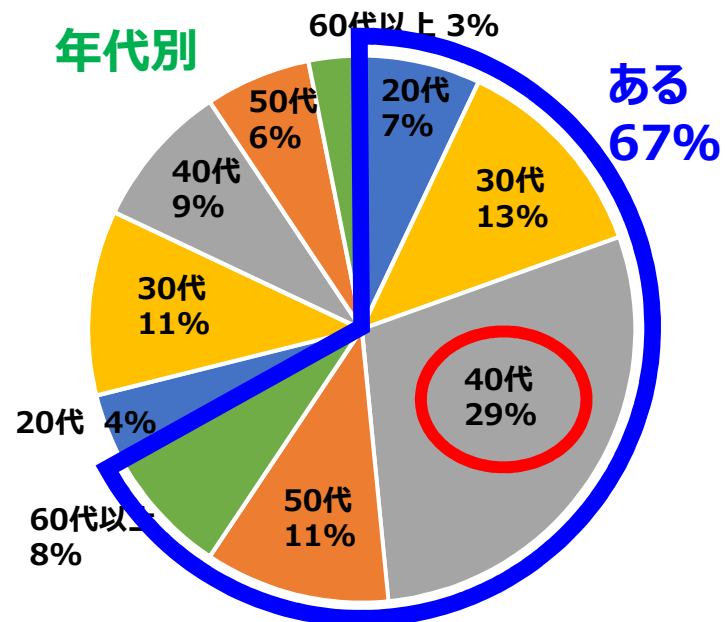
 **ワークライフバランス**

ダイバーシティに興味はありますか？

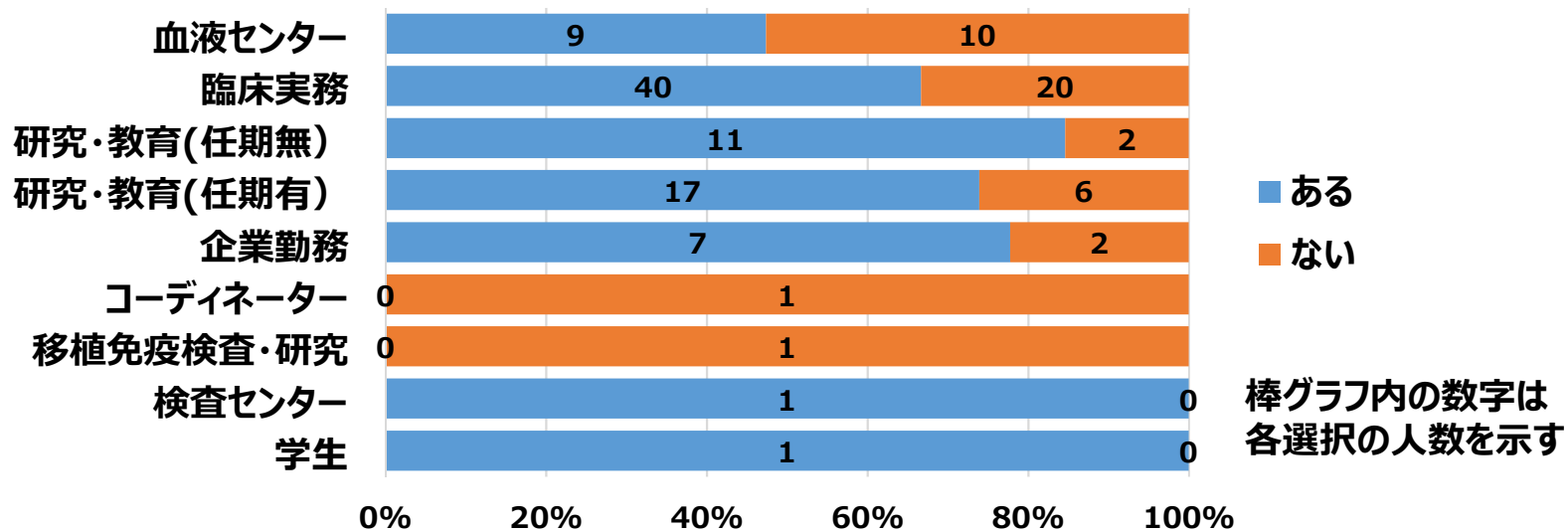
性別



年代別

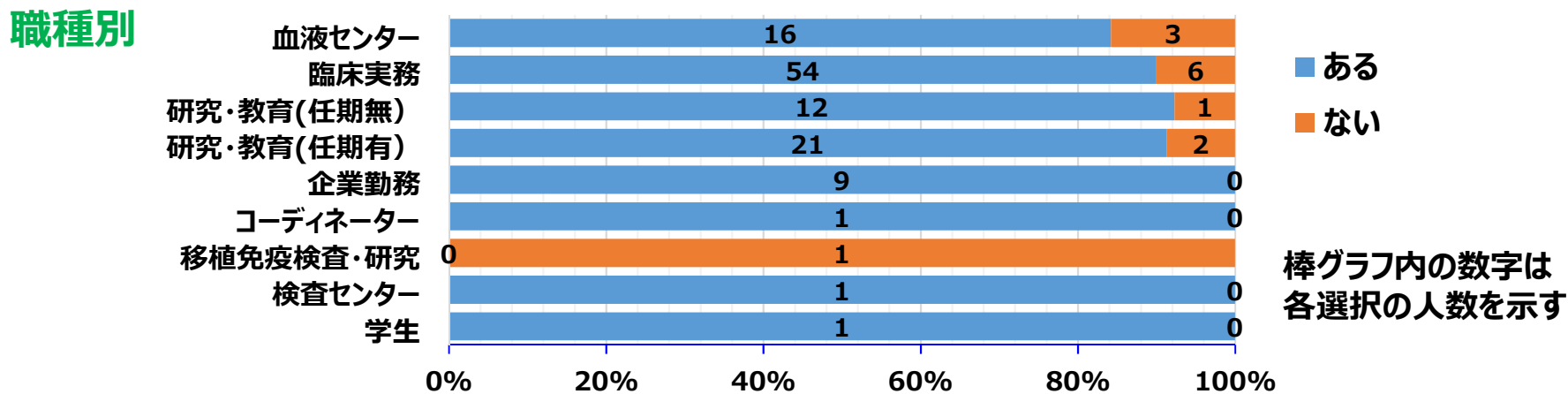
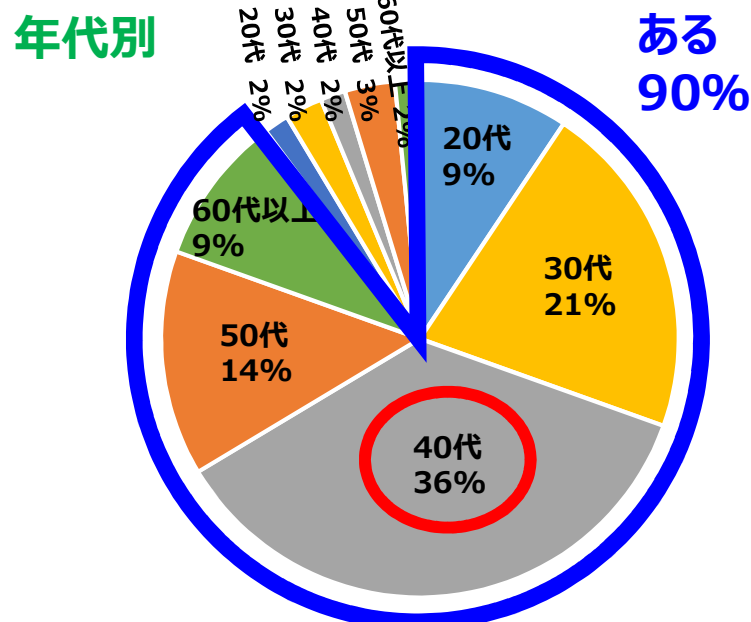
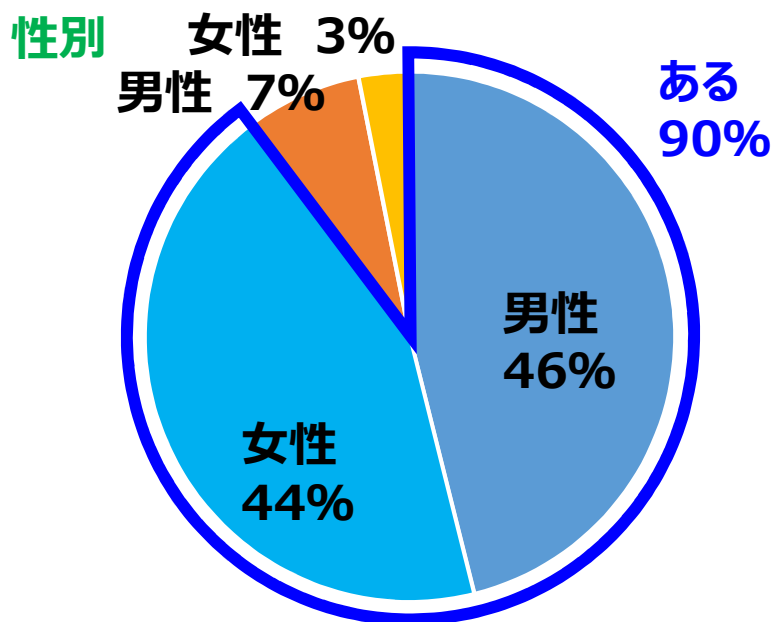


職種別



ダイバーシティに対する関心は高い

ワークライフバランスに興味はありますか？

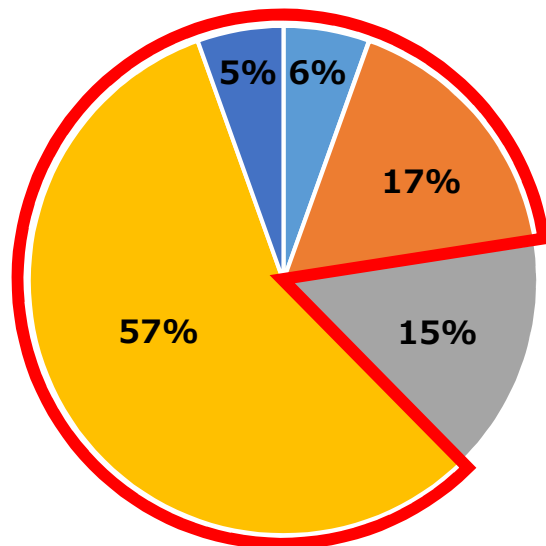


**ワークライフバランスに対する関心は非常に高い
働き方は、年齢、職種に関係なく共通の課題である**

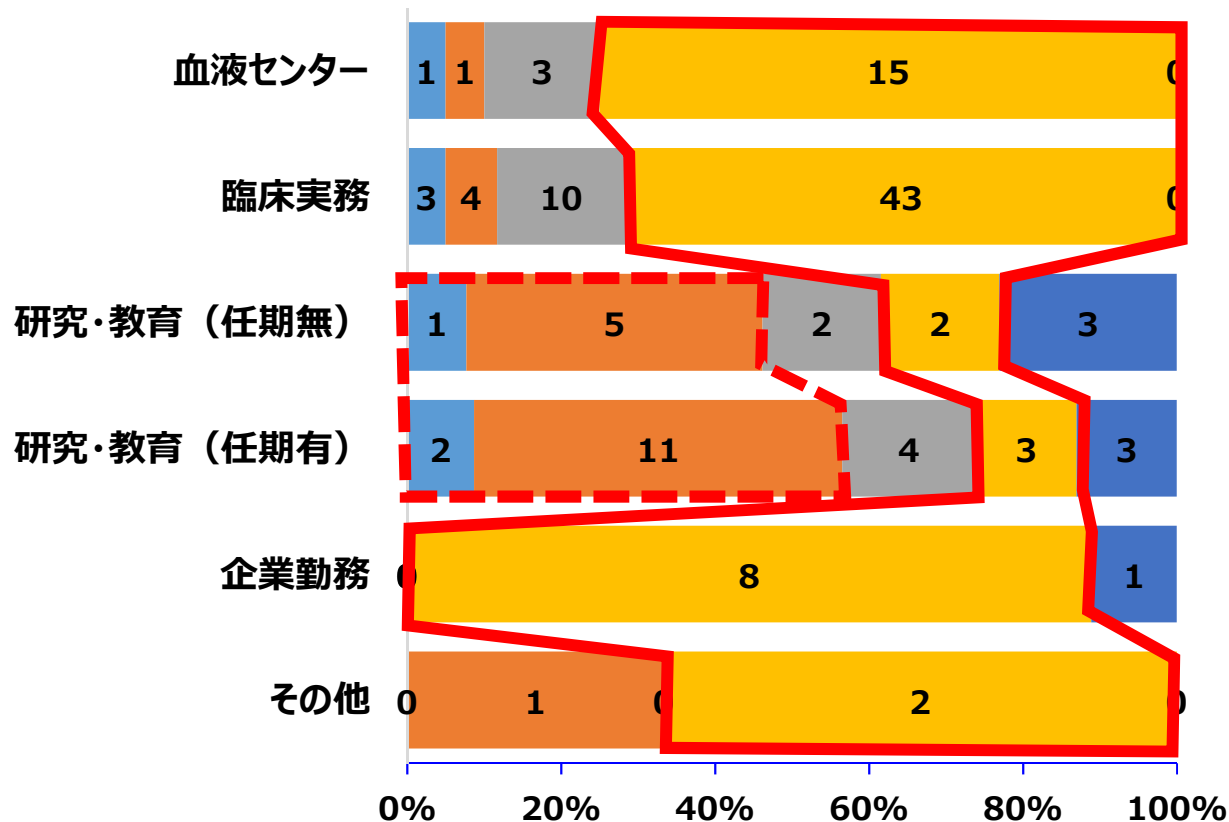
就労時間に制約がある中で、 仕事の中で最も優先させたい活動は何ですか。

日常業務 85%

活動内容の内訳（職種別）



- 教育
- 研究
- 自身のキャリアアップ
- 実務（日常業務）
- 論文執筆



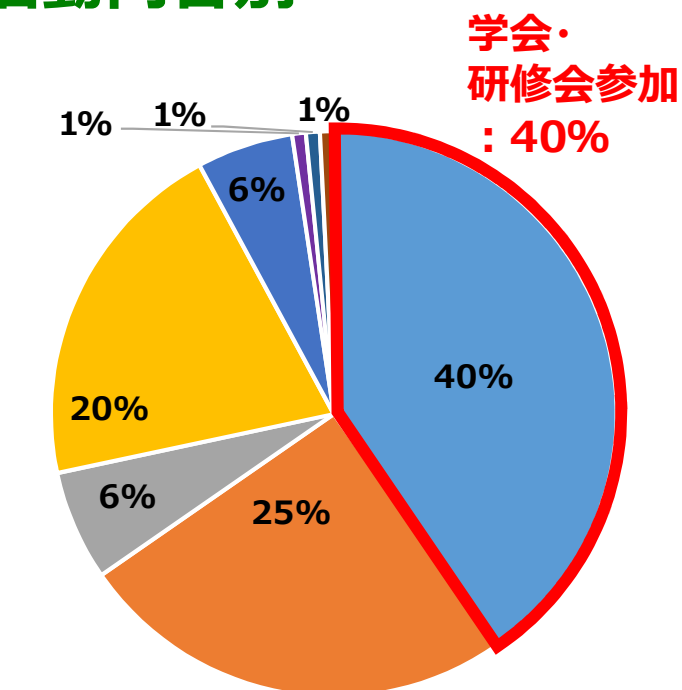
- 教育
- 研究
- 自身のキャリアアップ
- 実務（日常業務）
- 論文執筆

会員の堅実さがうかがえる結果であった

棒グラフ内の数字は各選択の人数を示す

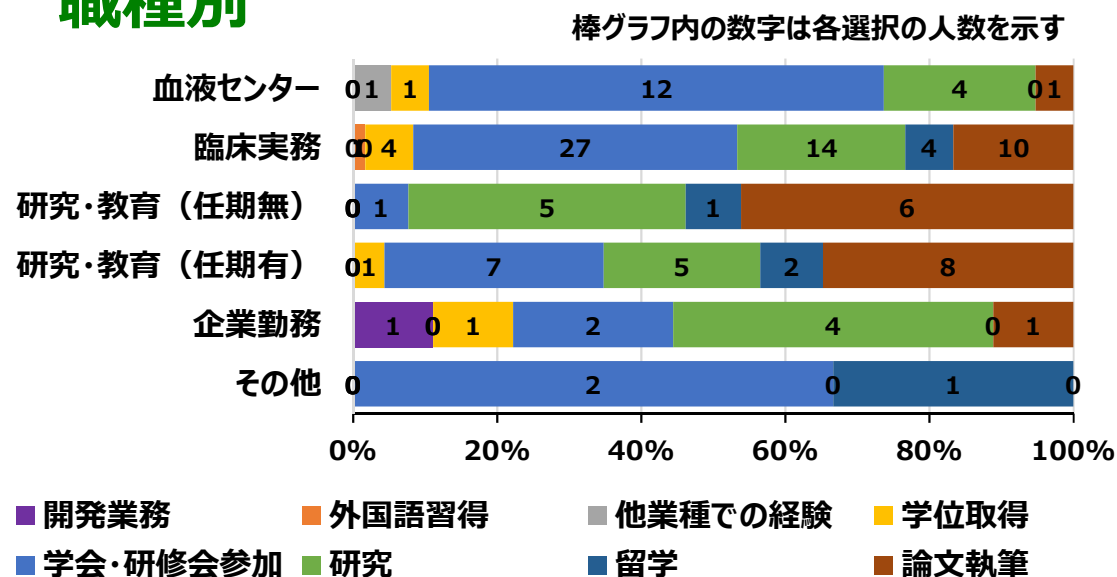
就労時間に制約がある中で、日常業務以外で最も挑戦（または経験）したい活動は何ですか。

活動内容別



- 学会・研修会参加
- 研究
- 論文執筆
- 留学
- 学位取得
- 開発業務
- 外国語習得
- 他業種での経験

職種別



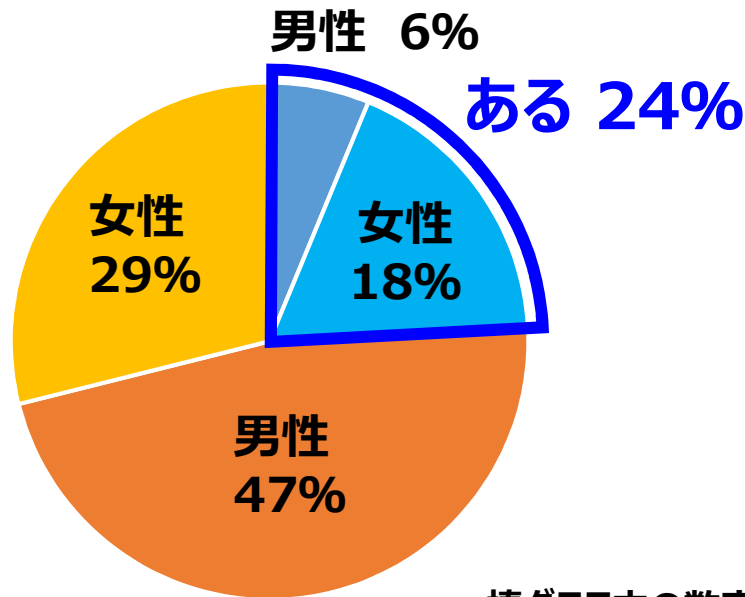
挑戦したい活動はいずれもキャリアアップに関連している

- 臨床関係→学会・研修会の参加
- 研究・教育関係→論文執筆

⇒挑戦したいことは職種により異なる

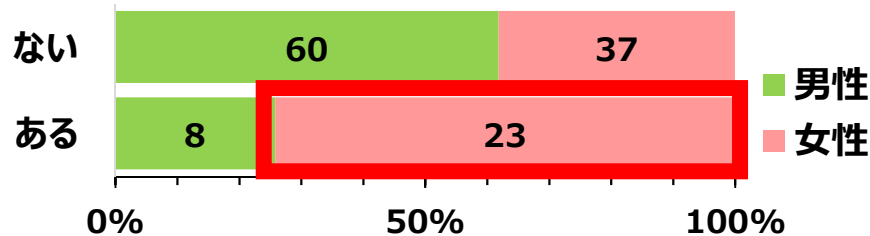
本学会のキャリア支援制度ができることは？

これまでに離職したことやキャリアアップを断念したことはありますか。



男女の比較

棒グラフ内の数字は各選択の人数を示す



理由

- 家族があり転勤出来ないため
 - **介護**
 - 貴重な海外研修が出産と重なった。
 - 結婚や家族の転勤
 - **子育て**
 - 女性であるため
 - 人事異動やハラスメント
 - 生活ができるかどうか
 - 同僚の昇進に、研究と昇進は別物であったことに気づかされた
 - 日常業務量
 - **妊娠、出産**
 - 能力の限界を自覚した（博士課程中退）
 - 博士号取得のため離職した
- ライフイベント

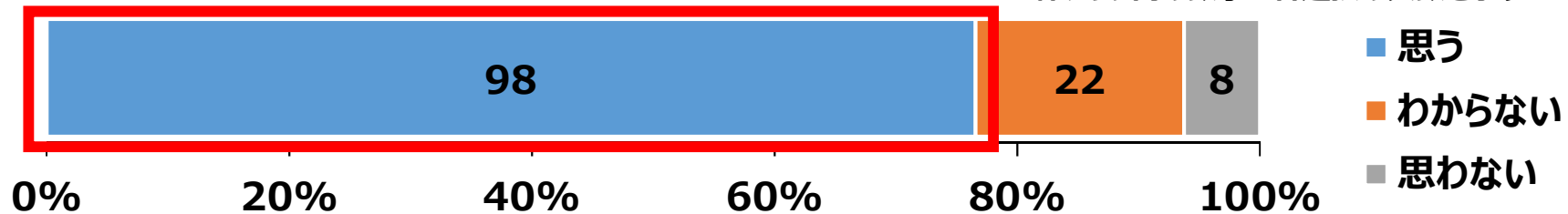
「離職・キャリアアップを断念したことがある」において、女性の割合が高いライフイベントにより、キャリア継続が難しくなっている？

⇒女性のキャリア継続を支援するために、本学会のキャリア支援制度ができることは？

ライフイベント後の働き方について

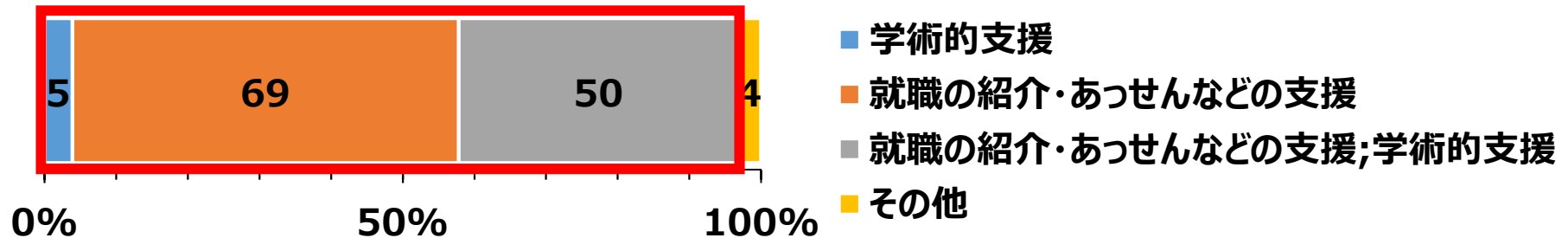
出産・育児休暇を取得した場合、
休暇後は復職し以前と変わらず働きたいと思えますか。

思う : 77% 棒グラフ内の数字は各選択の人数を示す



一旦離職した後に再度仕事に就きたいと思ったときに、
どのような支援があればよいと思えますか。（複数回答可）

就職の紹介・あっせんなどの支援;学術的支援 : 97%

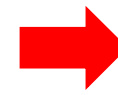


**ライフイベント後にもキャリアを継続するために、
本学会のキャリア支援制度ができることは？**

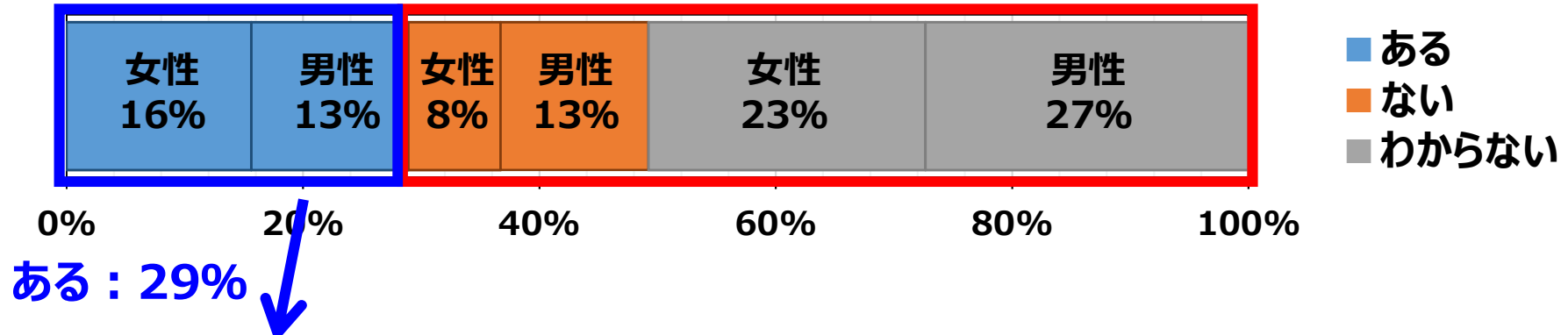
ライフイベント後の働き方について

出産・育児休暇を取得し復職したい人のための支援が、現在の職場にありますか。

ない・わからない：71%

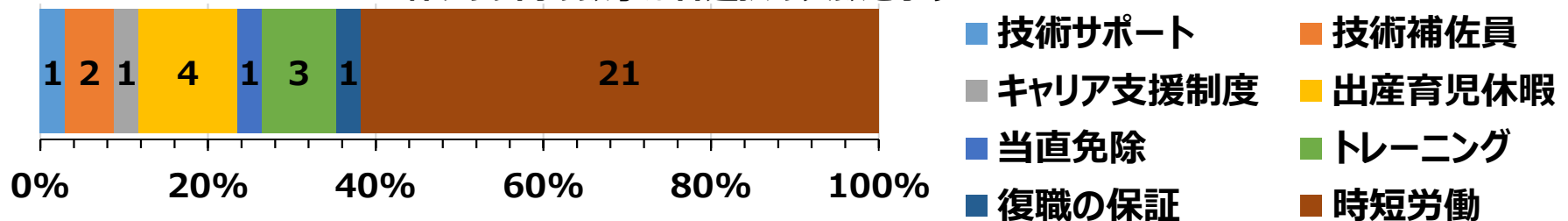


情報の不足？
復職者が少ない？



職場には出産・育児休暇を取得し復職したい人のための支援としてどのようなものがありますか？（延べ35回答）

棒グラフ内の数字は各選択の人数を示す



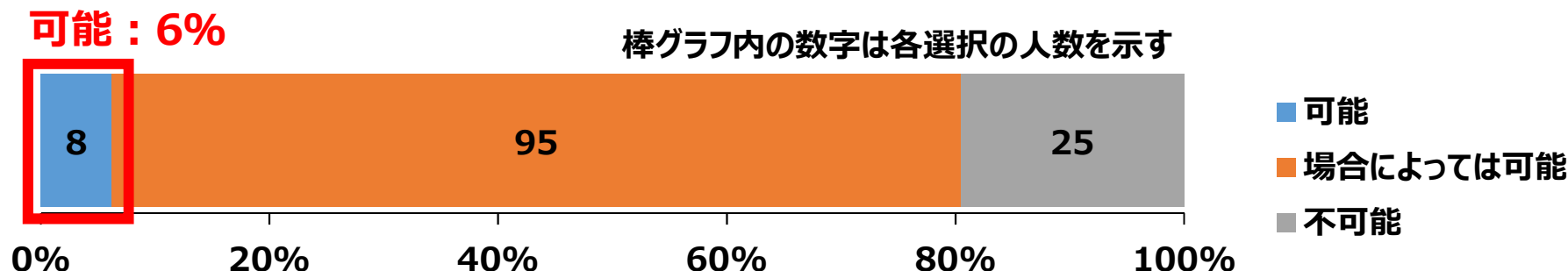
学会がサポートできる支援とは？

⇒学会員自身のキャリア継続に必要な情報の提供

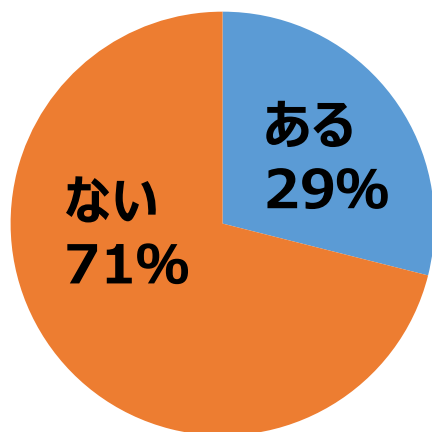
= 学術支援、技術サポート（学会に参加してもらうためのサポート？）

学会参加について

あなたが出産・育児や介護中である場合、学会に参加することは可能だと思いますか。



復職後に学会参加する際に困ったことはありますか。（回答：復職経験者38名）

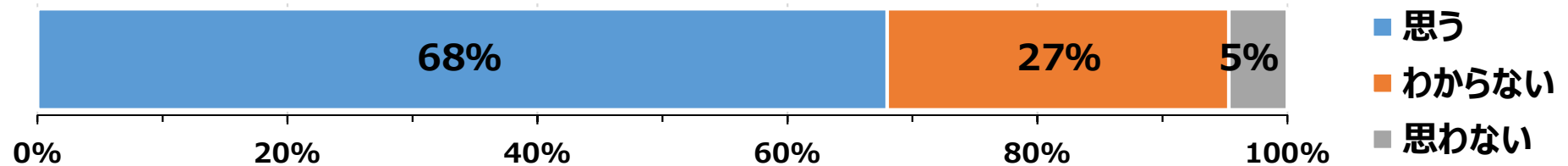


- 育児
 - 海外ミーティングで託児所がなく、連れて参加して良いと言われたが、恐縮した
 - 研究は日々進んでしまうため
 - 子どもの預け先
 - 子供が小さいと長期間離れられない
 - 子供が小さかった為、日帰りの学会参加しかできなかった。
 - 子供の預かりについて
 - 専門資格が必要とされていない
 - 泊まりでの参加の際の子供への対応
 - 離職後、再就職先が決定していない時の学会登録
- 保育・育児関係

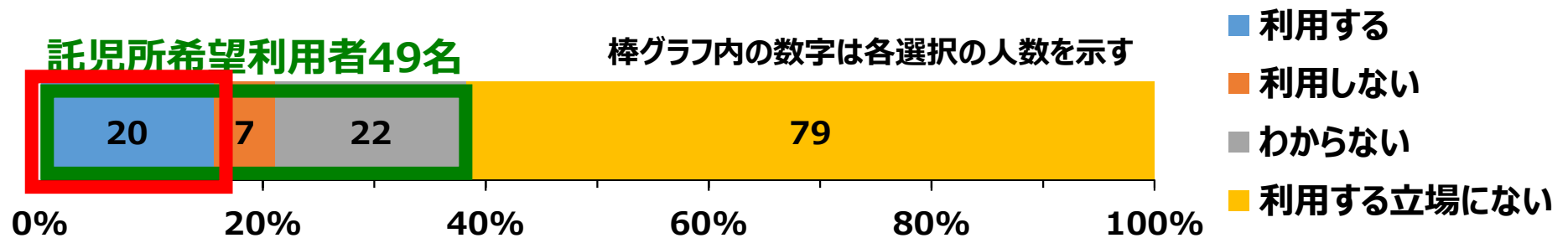
学会の子育て支援の在り方とは？

子育て支援（託児所設置等）について

学会大会中での託児所設置等，学会が子育て支援を行うことは必要だと思いますか。



学会大会中に託児所が設置された場合，利用したいと思いますか。



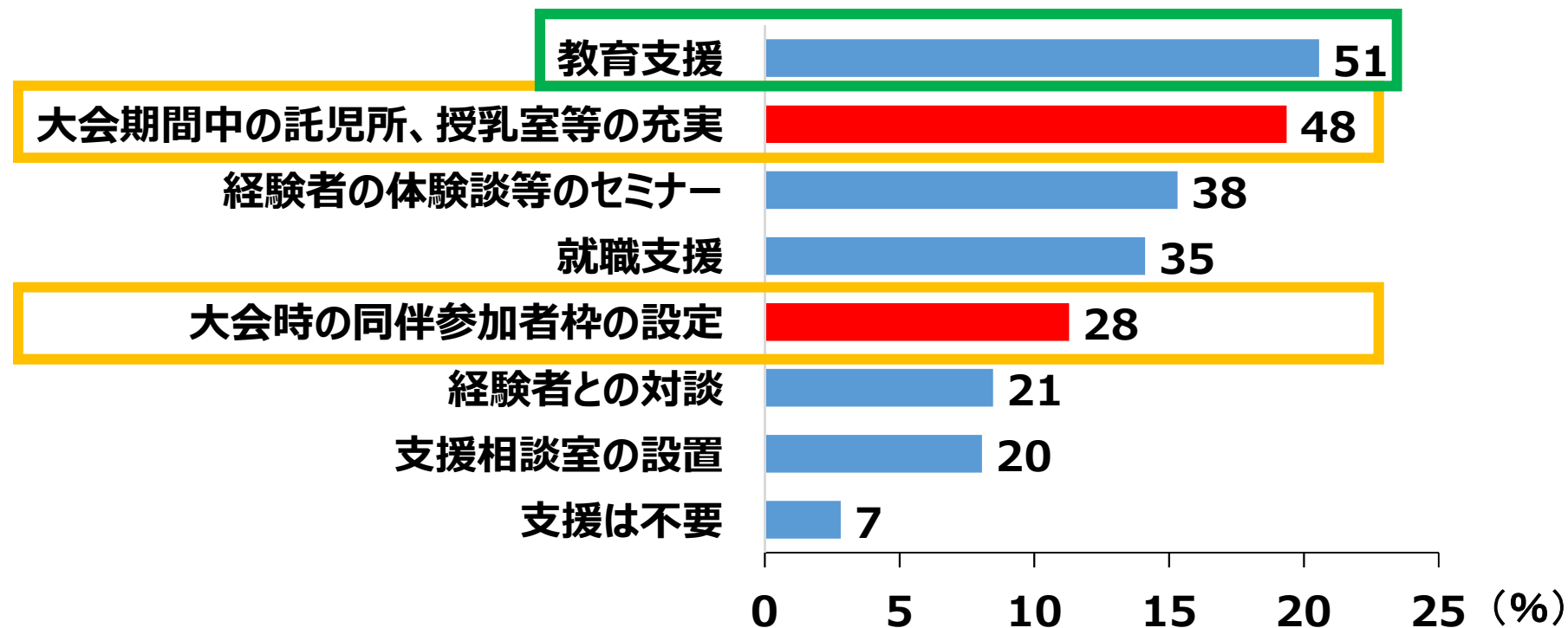
利用する：
全体の15%
託児所希望利用者の41%

学会開催期間中の託児所の設置に、前向きな検討が必要

学会にどのようなダイバーシティ関連支援があれば 利用したいと思いますか。

延べ248回答

棒グラフ内の数字は各選択の人数を示す



上記以外

ウェビナー、子供同伴を許容できる参加者の意識改革、無意識の差別を自覚する啓蒙活動

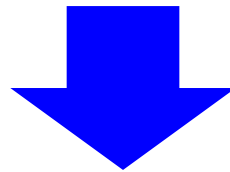
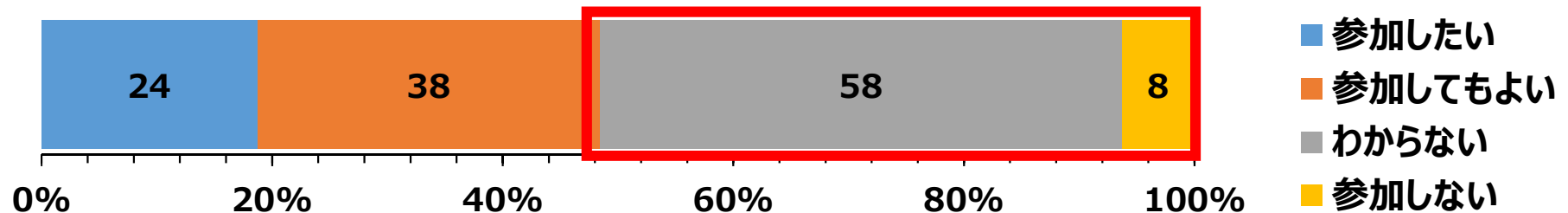
期待されるダイバーシティ関連支援とは？

⇒ライフイベントに対する支援、教育・技術支援、就職支援？

本学会を通して、ダイバーシティ関連の 研究者（技術者）ネットワークが構築された場合、 あなたは参加したいですか。

棒グラフ内の数字は各選択の人数を示す

参加しない or わからない：51.6%



学会のダイバーシティ・ワークライフバランス支援ができることは何か
必要なダイバーシティ・ネットワークとは何かを探る必要がある

ダイバーシティ関連アンケート結果まとめ

- 多くの会員が仕事に前向きで技術や学術的に研鑽を積むことを希望しておられる
- ダイバーシティ・ワークライフバランスに対する関心は高い
- キャリアアップ・継続に必要な活動に対する意識が高い
- ライフワークイベント（介護・妊娠・出産など）による休職・離職が、女性会員に多い



ダイバーシティ関連支援として
ライフイベントに対する支援、教育・技術支援、就職支援
などが必要と考えられた

⇒キャリア支援制度を通して、実際に何をどこまで支援していけるのか、
学会全体で考える必要がある